

OFA GK育成プロジェクト 活動レポート

2020年7月
一般社団法人大阪府サッカー協会



OFA GKアカデミー

文責：時久 省吾（OFA GKアカデミーGKコーチ）

7月に入りコンディションも上がってきてトレーニングもグループからチームへと移行して従来通りのトレーニングが出来るようになってきました。7月のトレーニングテーマとしてブレイクアウェイを重点的に取り組みました。ブレイクアウェイで使うテクニックとしてフロントダイブ、ブロックング、ブロックダイブなどがありますがDFの背後に出てくるボールを予測してどのようにプレーするのかを判断しなければなりません。それぞれのテクニックを部分的に行うトレーニングでは良いプレーが出来ていても実践で使えるようにしなければなりません。シュートをブロックできたのを良しとするのか、それともフロントダイブでマイボールに出来なかったのかを見極める必要があります。その為にパスを出す選手と駆け引きをしてより良いスタートポジションをとる必要があります。なのでチームトレーニングでは駆け引きの部分でリアクションではありますが、常に先手を取るように心がけています。対外試合はなかなか難しいのが現状ですが公式戦が始まるまでにしっかりと良い準備をしていきたいと思ひます。



OFA GKスクール

文責：櫛引 実（JFAアカデミー堺GKコーチ）

今月は6日（月）、13（月）にU-12、15其々1回づつ行いました。U-12のテーマは正面キャッチでした。基本姿勢を再確認して、それが良いキャッチにつながることも併せて確認しました。梅雨の最中、この日も直前まで豪雨でしたが、開始時刻には雨も上がり12名のスクール生が参加してくれました。強風で大変でしたが、何とか予定通りのメニューを行いました。最初に課題として感じたのは、オーバーハンドキャッチとグラウンダーのキャッチでした。オーバーハンド、グラウンダーキャッチで共に手の間隔や出すタイミング、更にグラウンダーキャッチでは脚の形（ニーリング）です。そして、どのキャッチにも共通する両手を同時に、前方に出して吸収する動作は課題でした。ただ、グラウンダー時の脚の形に関しては気にせず、肘同士の間隔を狭くすることを伝えました。また、成果として、スタートポジションや身体の正面でキャッチする事は出来ていました。しかし、ゲーム形式になるとFPのレベルやサッカー理解の低さが露呈しました。年間を通して改善できればと思ひます。U-15のテーマは正面キャッチとステップングでした。このカテゴリーも悪天候の中9名のスクール生が参加してくれました。キャッチングに関しては概ね同様の成果と課題があり、課題は実際のシュートで顕著でした。更に一回でキャッチすることにこだわりました。また、ステップに関しては弱冠の癖などありましたが、最短で最適な移動方法や目線など理解していました。ステップの切り替えに関しても概ねできていましたが、構えが遅れるという事がありました。特に実践に近いほど現れました。更にゲーム形式ではコーチングの内容も求めて、観ながら話しながら移動して予測をたてながらプレーができるように要求しましたが、殆どのスクール生が出来ていませんでした。年間を通してゲームの中で出来るように指導したいと思ひます。



協賛

ユニバーサル株式会社、ユアサM&B株式会社

お問い合わせ先

一般社団法人大阪府サッカー協会

〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-7-25 イトーダイ鞠本町ビル6階

TEL：06-6441-5881（平日10:00～18:00） FAX：06-6441-5882 <http://osaka-fa.or.jp>